

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、1番、利根川 正議員、11番、保坂 悟議員を指名いたします。

日程第2. 一般質問

○議長（松尾徹郎君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

宮島 宏議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。〔14番 宮島 宏君登壇〕

○14番（宮島 宏君）

おはようございます。清新クラブの宮島 宏です。

本日の一般質問では、2つの項目について質問をさせていただくことにしております。

1つ目は、防災減災対策とその教育普及活動について、2つ目は、地域資源の有効活用と維持管理について、この2点について、市長のお考えを伺いたいと思います。

1、防災減災対策とその教育普及活動。

令和6年能登半島地震においては、当市過去最大の震度5強を記録し、多くの被害が発生しました。今回の地震では多くの課題が見え、それを今後の災害に生かしていただきたいと思います。

市の広報では、本年2月号から毎号に日頃の防災対策が紹介され、防災行政無線でも頻りに防災減災に関する放送がされています。地域でも普及講演会も開催され、これらは能登半島地震の発災直後ということで地震と津波が中心になるのはやむを得ないことですが、台風や大雨など他の災害にも言及している点は評価したいと思います。ジオパーク活動では防災減災が大きなテーマであり、自然災害についての教育普及活動が大事なのは言うまでもありません。

以下、当市の防災減災とその教育普及活動の内容について伺います。

- (1) 津波からの避難では標高の認識が重要です。また、当地の地形的特徴を理解するために、市街地や各谷の主要な道路、各ジオエリアへの道路に一定ごとに海拔を表示する考えはありませんか。具体的には海拔50メートル以下では海拔5メートルごと、それ以上では海拔50メートルごとでよいと思います。
- (2) 線状降水帯の発達には夜間に多いことが指摘されています。災害は好天時の日中に起きるとは限りません。夜間や冬期間の避難訓練を今後行う考えはありますか。
- (3) 空積み擁壁は、今後の地震動や大雨で変形・崩落する可能性があります。市内にある空積み擁壁の場所や状況を把握していますか。また、どのような対策をしていますか。
- (4) 後背低湿地や砂丘の裾では、液状化が発生する可能性があります。当該地域の住民に対してそのことを周知していますか。
- (5) 蓮華温泉ジオエリアにある白馬大池火山は、約80万年から17万年前に活動し、その後は活動を休止した火山とされてきました。しかし、最近の研究で白馬大池の北東4.7キロ

メートルにある風吹大池の風吹火山が完新世に活動をした「活火山」であることが明らかになり、4,000年前以降の噴火が指摘されています。風吹火山を活火山の一つとして当市の防災で意識する必要があると思いますが、いかがですか。

(6) 糸魚川市防災ハンドブックについては、3月の市議会での一般質問で、その改訂は考えていないとのご答弁でしたが、今回の地震後に広報に掲載されている防災情報のページを切り取り、防災ハンドブックに挟んで保管するとよりハンドブックが充実すると思いますが、いかがですか。

(7) 地震や津波だけでなく、当市で想定される種々の自然災害を総合的に学ぶ普及講演会や現地見学会を、一般市民や児童生徒向けに市内各所でシリーズで行う考えはありますか。

## 2、地域資源の有効活用と維持管理について。

1987年は米田市長が市議に初当選された年です。この年に1期目の木島長右エ門市長がフォッサマグナと地域開発構想を策定し、ヒスイやフォッサマグナなどの地域資源を地域振興と教育に活用することが始まりました。その後、フォッサマグナパーク、フォッサマグナミュージアムなどが整備され、教育普及、調査研究、展示収蔵の諸活動は現在のジオパーク活動へと発展しています。地域資源の有効活用と維持管理について、以下伺います。

(1) 県の石になったヒスイについては、ヒスイ県石指定記念事業実行委員会の委員から、ヒスイにちなむお菓子などのお土産を開発し、県石ヒスイで稼ぐことが大事だという提言がありました。民間と行政が連携して県の石という地域資源で稼ぐことを意識する必要はありますか。

(2) 当市の急坂も地域資源になり得ます。糸魚川の地形を生かしたサイクルイベントとして、上り坂の走行でスピードが出ないため事故が少なく、距離も比較的短いため運営が少人数で済むヒルクライムイベントの実施について、検討する考えはありますか。ウォルター・ウェストンが歩いた平岩から蓮華温泉の道は、十分な標高差と景観に優れたヒルクライムイベントの適地であり、蓮華温泉への道が一般に開放される直前に実施すれば、交通規制も容易だと思いますが、いかがですか。

(3) 観光を人数から質で評価する時代が変わりつつあります。当市の観光でも人数から質へのシフトを目指していますか。著名な観光地を持たない当地では、来訪者の数ではなく、滞在時間や満足度を重視し、地域資源の有効活用でより稼ぐことを目指すべきと思いますが、いかがですか。

(4) フォッサマグナパークの糸魚川静岡構造線の露頭はリニューアル後、破碎帯最上部の浸食が進み、かなりえぐれてしまいました。このままではさらに浸食が進みますが、どのような対策を取る予定ですか。

(5) フォッサマグナミュージアムは開館30年を迎え、この間の適切な維持管理により建物や展示はよい状態です。しかし、開館時に造られた噴水広場の透水性舗装や、奴奈川の郷の大型看板の劣化が顕著です。また、噴水広場に建つ花崗岩オベリスクや、フォッサマグナミュージアムから小滝川ヒスイ峡の勾玉池に移設したヒスイは、カビで黒ずんでしまっています。これらの改修や洗浄は必要ありませんか。

(6) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク山岳連盟協議会が発足しましたが、同協議会にご協力いた

だき、山頂や登山道のポイントになる場所にジオパーク的な視点の解説が埋め込まれた二次元コードを設置し、山という地域資源を有効活用することはできませんか。

(7) 昨年10月、にいがた貝友会がムラヤママイマイのオブジェを市に寄贈され、オブジェは小滝川ヒスイ峡の学習護岸の近傍に設置されました。残念ながら解説板は日本語だけで、英語などは併記されていません。スマホのアプリでは日本語の解説板を他言語に翻訳することも可能ですが、国内委員によるジオパークの審査の前に二次元コードで英語などの解説を追加する必要はありませんか。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

宮島議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、引き続き、津波避難誘導看板と併せ、設置や表示について検討してまいります。

2点目につきましては、実施の同意が得られた地区を対象として、夜間等の防災訓練を実施してまいります。

3点目につきましては、危険性や対策について周知しております。

4点目につきましては、地震防災マップにおいて、公表いたしております。

5点目につきましては、現在のところ、目立った火山活動が確認されておりましたが、変状等が確認された場合は、関係機関と連携し、対応してまいります。

6点目につきましては、防災ハンドブックの内容を再編集し、広報紙に掲載しておりますが、まとめたものをホームページに掲載し、周知いたします。

7点目につきましては、国や県も含め、河川の氾濫や土砂災害を主に、防災教育として出前講座を行っており、引き続き、取組を行ってまいります。

2点目の1点目につきましては、ヒスイの県石指定以降は、石メシやスイーツの開発、石探しツアーの動きがあり、引き続き支援してまいります。

2点目につきましては、サイクルツーリズムを推進する上で、イベントの実施は有効であると考えており、安全性等の課題を整理・検証し、実施可能か調査、研究してまいります。

3点目につきましては、糸魚川市観光協会がDMO法人として稼ぐ観光を目指しており、満足度等の、質の重視も必要であると考えております。今年度から、接客や多言語対応のプロガイドの育成を開始し、リピーターの確保や満足度向上を図ってまいります。

4点目につきましては、専門家の意見を聞きながら、引き続き対策を検討してまいります。

5点目につきましては、訪れる方から喜んでいただけるよう、適切な維持管理を行ってまいります。

6点目につきましては、山の魅力の発信について協議会と引き続き検討してまいります。

7点目につきましては、設置者に相談の上、対応を検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問よりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

前向きなご答弁を多数いただきました。感謝いたします。

順番に従って、1番目から、二度目の質問をさせていただきます。

一昨日の合同訓練では、糸魚川駅の連絡通路に避難された地域もございました。連絡通路は、糸魚川で想定されている津波に対して、十分な高さを持っていると私は考えます。有効な一時避難場所になるということですね。

ただ、連絡通路が一体、標高どれぐらいの高さにあるのか、あるいは連絡通路に上っていく階段が、この場所は何メートルなのか、そういった表示があると、市民の方が頻繁に通る場所でもありますので、より自分がいる場所の標高を把握するきっかけになると思います。この点については、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

おはようございます。

お答えいたします。

糸魚川駅につきましては、主に大町地区の方から、当日、避難訓練に参加いただき、避難していただきました。糸魚川駅につきましては、海拔5.2メートル、また、自由通路につきましては、プラス6.3メートルですので、10メートル以上ということで、一定の高さを確保できていると認識しております。

今、議員おっしゃられた、例えば階段にといったようなところで、消防本部がお見えになったときに見たことあるかと思うんですが、階段に表示ですかね、そういったのもありますし、施設へ行きますと何か貼ってあるというのもありますので、そういったところも一つの、もうこの階段くれば10メートルなんで後ゆっくりでいいなという、そういった考えもできるかと思っておりますので、今の意見をちょっと参考にさせていただきまして、ちょっと検討させていただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

同じく海拔の表示について伺います。

海拔の表示は、津波への役割、津波から避難するための役割もありますが、糸魚川市のハザードマップを見ますと、もちろん津波の浸水域も書かれていますが、河川氾濫による浸水域も、実はか

なりの深さで予想されています。標高の表示は、河川氾濫時の避難の参考にもなるかと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

まず、1番はハザードマップを見ていただくといったところになるんですが、例えば糸魚川市民の方ならいいんですが、外から見られる方、スマホでホームページ見たりとかして確認していただければいいんですが、なかなかそうもいきませんので、3月議会でも何人かの議員さんに答弁させていただいたんですが、今、宮島議員おっしゃられたのが、例えば浸水域のところへ表示するとか、過去これぐらい来ましたよということに表示するとか、いわゆる、まるごとまちごとハザードマップですかね、そういったところを今ちょっと検討しておりますので、いずれにいたしましても可視化によりまして、皆さんが分かりやすいようなことを今検討しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

標高表示に続きます。

災害対策としての標高の表示もさることながら、地域を知るために、そういう役割もあると私は思います。例えば今回の一般質問で何人かの議員が取り上げている権現荘。権現荘は一体、標高何メートルにあるか、皆さんはご存じでしょうか。

高野所長は、当然ご存じだとは思うんですけれども、私は知りませんでした。調べてみましたら、ちょうど200メートルなんです。それから、シャルマン火打スキー場、一番下が500メートル、それから一番上が約1,000メートルなんです。そういったところに表示があれば、行ったときに、権現荘は200メートル、シャルマンは500から1,000、そういったことが頭に自然に入っていくと思うんです。それは、ふるさと学習にもなりますし、糸魚川市の自然の魅力を伝えることにもなると思います。

ちなみに、地球温暖化でシャルマン火打が心配だというご意見もありましたけども、シーサイドバレーの標高は250から700なんです。ですから、標高の点だけでいうと、地球温暖化の影響を受けやすいのはシーサイド、そういったことも標高表示を見ることで理解しやすいと思います。

私も、ジオパークに関わらせていただいて、解説板や普及書を多数作らせていただきましたけども、振り返ってみると、例えばあるジオエリアの解説板には、その場所の標高ってあまり入れてないんですね。だから、山頂にはジオパークの看板というのは今んとこないということなので、実はジオパークでは、地形とか地質を重視しながら、標高の情報がかなり欠けてると思うんです。ぜひ今後、貼り付けるなどして、標高の情報を入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

今現在、宮島議員おっしゃるのように、山頂のほうには、何一つのジオパーク関係の表示等はしておりません。今現在、ホームページの山、登山ガイドというホームページがございまして、そちらのほうには基本的な情報は載せさせていただいております。

また、昨年度から糸魚川市では、アプリ会社と協定を締結しておりまして、地図GPSアプリでありますYAMAP（ヤマップ）、こちらのほう連携をしております。遭難活動等にも寄与できますし、また、その山の情報等を知ることができますので、そういったものも活用いただきたいなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

子供たちが、日頃通っている学校ですね、その学校の標高、そういったものは、糸魚川市の場合、表示されているでしょうか。あるいは子供たちに伝えられているでしょうか。

実は私、子供時代に配付された地図に、自分の学校の標高が地図で書いてあるんですね。45メートルでした。それを見たのは、たしか8歳ぐらいのときですけれども、自分の住んでる場所、通う学校が、標高45メートルなんだということを知ることができたわけです。

糸魚川の学校の標高を調べてみると、一番海に近いのは大和川小学校だと思いますけれども、実は、大和川小学校よりも海から遠い糸魚川小学校のほうが、標高は低いです。この理由は、糸魚川小学校の場所が、地形学的にいう後背低湿地にある。大和川小学校や田沢小学校は、いわゆる砂丘の上に建てたんですね。

そういったように、自分の通う学校と大地の仕組み、そういったものを関連づけて、小さい頃から自然に覚えてもらうことが可能なんじゃないかと思っておりますけれども、そういったやり方、まず、標高表示がされているかどうか、それから今言ったような、後段の役割、そういったものについて、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

お答えいたします。

標高表示のほうは、多くの学校の玄関に表示されております。

ただ、大分前に作ったものでして、印刷が薄れているものや剥がれているものもあるので、再度表示するように指示したいと思います。

また、災害についてですけど、社会科の副読本等で災害について記載している箇所がありますので、そこと関連づけ、自校の立地場所によって、どのような災害が起こるかということを経験学習や社会科で学習しているところです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

2番目の夜間避難訓練に関して伺います。

1993年の7月12日、夜の10時、マグニチュード7.8の地震が発生しました。北海道南西沖地震と呼ばれています。その津波の遡上高は、最大30メートル以上です。

地震発生時、奥尻島の住民の8割が自主避難しました。そのうちの2割は、揺れてる最中に避難を開始したそうです。そのためにかなりの方が助かっています。ですから夜間の、直ちに避難するような訓練も、糸魚川の、特に海沿いの地域では必要なんじゃないかと思います。その場合、避難所に避難するようなやり方じゃなくて、とにかく津波が来ない高さまで一時避難する。そういったやり方でいいと思うんですよ。そういう観点も、夜間というか明るい時間帯ではない訓練のお考えはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

市長答弁にもありましたとおり、そういった前向きなお考えのある地区があれば、連携して実施させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

5番目の活火山に関してです。

確かに現状では、風吹火山は目立った火山活動は見られません。

ただ、皆さんご記憶されてると思うんですが、2014年の9月27日、御嶽山で噴火が起きました。戦後最悪の58人の方が亡くなって、今なお、6人の方が行方不明になっているということです。

実は、この御嶽山の噴火のときの噴火警戒レベルは、最も低い1でした、レベル1でした。これは活火山であることを意識しなさいということで、火山は静穏、静かで穏やかな状態になってるよということが、当日の昼の直前まで出てました。

つまりこのことは、今穏やかだからといって、風吹火山が噴火しないという保証は全くないわけですね。私、心配するのは、風吹火山の噴火口、風吹大池周辺に幾つかあるんですけども、その場所から噴石が飛び得る半径3キロ以内に蓮華温泉があったり、それから梅平というね、割と景色の

いい場所があるわけですよ。ですから、確かに穏やかなんですが、風吹火山は火山であることを十分意識してくださいという表示は必要なのかなというふうに思っています。この辺りいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

議員おっしゃる火山と申しますか、山につきましては、現在、全国の111の活火山には入っていないということで、私も宮島議員のご質問を見て、少しインターネット等で見ました。確かにそういった経過があったんだなということで、いずれにいたしましても我々は素人で、そういったことと分かりませんので、また山は違いますが、新潟焼山には火山防災協議会、新潟、長野両県、また、両地方気象台、また関係する市、それからの専門の先生もいらっしゃいますので、何かの機会にまたちょっとご相談させていただいて、今後、参考にさせていただければなというふうに考えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足してお答えいたしますが、111の火山が、今調査を視野にしておると、してないのがございまして、51は今、新潟焼山を含む調査、そういった調査、研究等も入ってるんですが、そのほか入ってないわけでありまして、先般、その火山に対する対応する議連が設立されました。その中で、我々も加わっておりますので、そういう中で、今、我々、そういう111に入っていない火山等についても、これからいろいろ提言もする機会もあろうかと思っておりますので、そういったところに対しても対応していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

今、市長がおっしゃったのは、6月12日に東京で行われた火山調査研究推進本部設立、火山防災加速化大会のことだと思いますけれども、ぜひ地域の大地の仕組み、特に火山は、時には危険を及ぼすことがありますので、ぜひ前向きに進めてください。

防災講演会についてですけれども、防災への理解を高めるためには、よりリアルな体験が有効だと思います。私も、市の職員時代に起震車というものに生まれて初めて乗りまして、例えば関東大震災のときの揺れ、それから3・11のときの揺れ、そういったものを経験して、震度7というのはこういうものなのかと実感しました。こういう実体験はすごく大事なので、今後も続けていただきたいと思っております。

最近では、拡張現実、ARと申します。それから仮想現実、VRですね。そういった技術を使って、



実際にあるような感じに災害を体験することができるようになってるそうなんです。そういったものも今後の市民向けの、あるいは子供向けの普及活動に生かせるんじゃないかと思います。ぜひこれはご紹介ですけれども、ぜひ検討されてください。

それから防災講演会では、昨日の田中議員さんが一般質問で取り上げていたペットの同行避難とか、それから避難行動要支援者登録、それから福祉避難所、そういったことも含めて防災講演会等で市民の方に周知を図るべきだと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今ほど言われたペット避難、また避難行動要支援者の避難等々も含めまして、こういった講演会、また連絡講座等をやったらいいんじゃないかといったようなところで、計画的に実施してまいりたいと考えております。

ただ、今どうしてもやっぱり市民の目が地震・津波のほうにいておりますが、一方で、日曜日の日もちょっと大雨ということで、大雨を忘れてはいけないということを皆さん重々分かったと思いますので、そういったところで計画的に講演会等を実施してまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

参考までにご紹介します。

秋田大学にいた林 信太郎先生が、キッチン火山学というものを提唱しまして、これ結構、火山防災のときの定番メニューになってます。

実は、私もミュージアム時代に、子供向けに何回もやったことがあります。最近はなかなかやらないようなので、ぜひ地震とか火山の紹介のときに、楽しく、おいしく学べる取組ですので、ご検討ください。

2番目の県の石に関係した商品の開発です。

県の石に関係した地場の地場産のお土産ですね。食べることができる、あるいは体の中に入れることができるものは、日本酒と干しうどんなんですね、乾麺。そういったものがヒスイ王国館で売られてました。

それから、JAでは、「ひすい」という名前がついたお米も作られていますが、お土産にしやすいお菓子は、実はないんですよ。連絡通路にあるコンビニに寄りますと、ヒスイの名前がついたお菓子が売っています。

ただ、残念ながら地場産じゃないんですよ。せつかく県の石にヒスイがなったのですから、お土産として最も使いやすい気の利いたお菓子ね、そういったものをぜひ民間と連携して、官民連携で開発することはできないでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

宮島議員のご質問の中にもありましたが、県石実行委員会の解散式の中で、そのような石にまつわるものを開発していただきたいというお声をいただいております。

昨年、やはり県石になりましたので観光協会のほうは、一昨年ですね、一昨年、サマーロックフェスということで、石フェスの中で、食べ物の関係で、様々な試みのほうをさせていただいております。また今年も、ロックフェスのほうは開催する予定にしております。また、会議所、観光協会併せまして、そのような声をいただいておりますので、中では、開発に向けて、協議・検討のほうはしてまいっておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

県石に関わった1人として、大いに期待しておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、ヒルクライムなんですけれども、市長からは、検討していきたいというようなお話でしたけれども、県内ではヒルクライムレースって幾つかやってるんですよ。例えば佐渡では、10年ぐらい前から夏と秋にやっています。それから、お隣の上越市では、板倉区の光ヶ原高原で、今年初めて夏に開催されるそうです。それから、あと隣の梅池高原では、35年前からヒルクライムが行われています。参考になるものが近隣にありますので、ぜひご検討いただきたいと思っております。

ヒルクライムは、当地域の急坂、それから景観という地域資源を生かした交流人口施策になるに間違いのない、なると思うんですよ。ぜひ実施の方向でやってください。

ところで、市長らは、6月12日に東京で行われた自転車を活用したまちづくりを推進する全国市町村長の会に出張されました。自転車を活用したまちづくりで、何かヒントになるようなものがありましたでしょうか、ご紹介ください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に多くの関係者が集まった中で開催されたわけございまして、また、国会議員の自転車に関心のある方々が多くおいでいただきました。

そういう中で、やはり我々は自然の豊かさの居住をする中で、自転車というのは非常に効果があるというのをやはり再確認させていただきましたし、また、いろんな面で連携を取れたり、支援体制もあるというのも理解したわけございまして、我々といたしましても、グランfond等の大

会等も開催いただいておりますので、ぜひとも市といたしましても、再度そういった大地を生かした自転車を生かす何かイベントを考えていきたいと思っておりますので、今そういった気持ちを持った方々もたくさんおられるので、関係者の皆様方と再度、力強く推進していきたいというのを、その場で再確認させていただきました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

グランフォンドは、私、自転車が好きなもんですから、第1回、それから第4回だったかな、2回参加させていただいて、当地の急坂を、かなり満喫しました。

6月15日に、台湾ジオパーク等の連携協定締結式が行われています。台湾は、言うまでもなく自転車大国なんですよ。台湾との連携で、いわゆるシクロツーリズムをどのように位置づけられてますでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

台湾は、非常に自転車に対しては非常にレベルの高い国であります。そういう中で、今ジオパークの連携しておる関係で、我々、視察を行ったときに自転車の話を出したところ、今、旧日本軍が開発してくれたトンネルが、トンネルといいましょうか、鉄道敷が廃線敷になって、それを自転車のコースとして利用しているというところを体験させていただきました。そのようなことで、ジオパーク関連の中でもそういう生かし方をしておるといふのを現地を見させていただいたので、我々といたしましても、そういったいろんな活用できる部分というのもあるということを確認させていただきましたし、市民の皆様方も非常に熱心に自転車というものを利用されておる。そして、自転車の種類も豊富ないろんな種類がございます、アシストについても同じに捉えておるわけですので、そういった先進事例を非常に我々といたしましても生かしていきたいと思っておりますので、さらに自転車についても深く台湾と連携をしていければと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ドイツのオスナブリュックから始まる台湾との交流ですけども、ぜひその絆を大事にしていただきたいと思います。

次に、量から質への観光のシフトについて伺います。

これは昨年、政府が閣議決定したもので、観光立国推進基本計画の中にあるものです。その中身は、質の向上を重視し、人数ではなくて、どれだけお金を落としてくれたかを重視することが目標になっているそうです。

当市の観光戦略は、そのように消費額の重視にシフトするようになってるのでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

やはり糸魚川市の観光の質の向上としましては、先ほど市長も答弁させていただいておりますが、さらに魅力あるガイドを育成していきたいというふうに思っております。

また、ジオパーク等の特異な資源をやはり選別したり、ブラッシュアップしていくことも必要ではないかなと考えておりますし、また、今タイパが叫ばれております。やはりICTを活用したり、そういったことも今後考えていく必要もあるのではないかなと思っております。

どちらにしましても、やはり今後、満足度の向上ということで、体験するコスト消費や、特別感、また驚き等を与えることも必要ではないかと思っておりますし、質と満足度の向上は、やはり全体で、トータルで糸魚川をどうやって見せていくかというのは、大変重要ではないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

満足度の向上、当市の観光では極めて大事だと思います。私もガイドとしてやらせていただいているんですが、ガイドした人がどれだけ満足をしてくれたか。実は、そのアンケートが、観光協会では現状されていません。ぜひ来ていただいた方に、時間を空けずに、どういう点がよかったか、悪かったか、そういったことをアンケートを取っていただいて、それをフィードバックする。その繰り返しで、糸魚川のガイドといったものは、よりよくなっていくと思います。よろしくお願いします。

近年、押上海岸、須沢海岸、あるいは親不知ピアパーク、そういった海岸には、多数のヒスイ探しの人たちが訪れています。人によっては、石だけ拾いに来て、糸魚川にはお金を落としていかなというようなことを言う方もいましたけども、それは本当なのかなと。海岸に、例えばフォッサマグナミュージアムで石の勉強ができるよ。あるいは小滝ヒスイ峡というのがあって、そこに行くと、ヒスイのルーツ、そういったものが見ることできるよ。あるいは明星山という断崖が、目の前にあるよ。それは車で大体1時間弱の距離にあるとか、そういったインフォメーションを看板等でしてるのでしょうか。多分ホームページとかチラシにはあると思うんですが、海岸に来た方って、そういうものを持っているとは限らないわけですよね。看板等があれば、看板等にそういった情報が書かれていれば有効だと思うんですが、これちょっと確認です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

各観光スポットの観光案内板には、周辺施設を記載のあるものもございますが、広域的に記載があるかと言われますと、それはまだまだ足りてないというふうに思っております。

ただ、先ほど事例がございました海岸で石拾いに来られている方につきましては、石を拾いに来られてても、周辺の商店で物を買ったり、また、糸魚川市内で食事等を取っていただいているのではないかなと思っておりますので、そういった間接的な効果はあるのではないかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

パークの糸魚川－静岡構造線の露頭の保全について伺います。

根知の糸魚川－静岡構造線は、2021年3月26日に国の天然記念物になっているんですね。糸魚川のもので天然記念物になったのは、実に46年ぶりでした。ヤマネという生き物が1975年に指定されて以来、地質に限って見ると、1957年の青海川の硬玉産地以来なんですよ。ほんと極めて画期的な出来事だと私は思いました。

それが、断層の破碎帯がかなり浸食を受けてるわけですね。浸食は、止めることはなかなかできないと思うんですよ。ただ、浸食の程度を抑えることは技術的に可能だと思います。これは、もう早急にやらないと、どんどん、どんどんえぐれていくわけですので、ぜひ専門家の方との意見交換をして、早めに対策を取っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

フォッサマグナパークの断層のことであります。

浸食の理由につきましては、おおむね2点だと思っております。雨等の外的要因、そして地質等の要因と、2つだと思っております。専門家等の意見を聞きまして、対策を取ってまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

文化財は、保全も大事です。ただ、活用も重要なんですね。フォッサマグナパークという、当市ではかなり力を入れているエリアがあるわけですが、フォッサマグナパークで、今までどれだけ稼いだかなというふうに、私自身、振り返ってみると、あまりパークにちなんだグッズもないし、稼いでいなかったなと思います。

参考までに申し上げますと、黒部の太陽で有名な関電トンネル、大町トンネルですね、かつての。

その破砕帯は、皆さんも通ったことあると思います。その破砕帯から水が出ていて、大町市では、その水でサイダーを作ったりする、サイダー。名前が「ハサイダー」というんですね。これは、要するに地域資源を生かした稼ぎだと思うんですよ。パークでも、ぜひ対岸に、断層の上に立つ造り酒屋さんがいますので、そういった方とコラボして、パークで稼ぐことをぜひ検討されたいかがでしょうか。この辺り、もしご答弁いただければ、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ご承知のとおり、我々は、この自然のやはり恵まれた地形であったり、または鉱物を生かしたジオパーク活動を取り組んだ大きな理由については、やはり交流人口の拡大という、この糸魚川市にとって必要な活動だという形で取り組ませていただきました。それには、まずはやはり知名度を上げるといこと、そして、それをいかに普及啓発をしていくかというところが、私は第1ステージだと思っております。それは、今大体、もう大体全国にジオパーク活動というの、ある程度広がってきてる部分があります。

また、そういう中で、糸魚川のこれからの課題といたしましては、今、議員ご指摘のとおり、やはり地元で金が落ちる仕組み、動ける、また、そこで生きていける環境づくりというのは、今後、必要になってくると思っております。そんなことから、第2ステージというのが必要になってくるわけでございまして、今、観光協会も同じ考えでおられるわけでございますので、そういったところと連携をしながら、やはりいかに地元で金が回っていくかという観点から、第2ステージには、そういった観点で、今ご指摘の点のお菓子においてもそうでしょうし、そしてまた、おいでいただいて、よそのドライブインで昼食を食べたり、また、よその宿泊施設で、市外の宿泊室で泊まって糸魚川を訪れるようなことがないように、関係者と連携をしっかりと取っていきたいと思っている次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

ぜひ地域資源で、稼ぎましょう。

4月14日に能登半島地震について、富山大学の安江健一先生が講演されました。そのとき、煎餅を配ってましたよね。それは、有名な断層、阿寺断層という横ずれ断層があるんですけども、その煎餅なんですよ。ジオパークでは、各ジオパークではいろんなジオパークにちなんだお土産、食べ物系のお土産を開発されてますので、そういった事例も参考にしつつ、糸魚川ならではのものを作られて稼いでほしいなと思います。

最後のほうになりましたので、山の二次元コードについてです。

山の山頂、あるいはかなり高いところには、残念ながらジオパーク的な情報を提供するパネルがありません。それは、そこまで持っていくのが大変なんですね。ですから、物理的にも持っていき

づらい。

そこで、私考えましたのは、こういった二次元コードです。この大きさにする必要はありません。この大きさに、これ5センチ、こういったものです。こういったものを登山道、あるいは山頂に持って行って、つけてもらう。そうすると、実はこのQRコードには何が入ってるかという、市民憲章の全文が埋め込まれてます、150文字ぐらい。ですから、例えば雨飾山は、何万年前の、例えば安山岩ができてるとか、そういった情報は、かなり容易に入れられるわけですね。しかも小っちゃいですから簡単に持って行ってもらえる。それを山岳協会の方々に連携してもらってやるというのは、いかがかなと思っている次第です。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

山頂に、今ほどご提言のQRコードの設置というのは、やはり設置できる場所があるかどうかというのも確認も必要だと思いますし、また、やはり冬期間等もありますので、状況等を協議会等とまた確認しながら、研究のほうを進めてまいりたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

宮島議員。

○14番（宮島 宏君）

山頂には、例外なく山の名前を表示したプレート、あるいは標柱が立ってますので、それに取り付けることが可能だと思います。

以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、宮島議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を11時といたします。

〈午前10時53分 休憩〉

〈午前11時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕